

アイソスの
回文かるた

つまりわかりません
せんきんとんき
せ
まり
かわり

つ

よ
う

first message from ISOS



*回文=上から読んでも下から読んでも同音の文章。



「つまり……わかりません」
禁！
転勤迫り、替わり待つ。

ある本審査の風景

事務局担当者の話

「ほんと、青井さんたら、いやなっちゃう。あれほど、何回も打ち合わせをして、審査員のインタビュー対策のためにQ & A集まで作成して、さらに模擬審査でシミュレーションまでやったのに、審査本番でドジるんだから。なんにも答えないのよ、彼。審査員に質問されて、『つまり……』と言ったきり、黙っちゃって。あげくのはてに、小声で『わかりません』って言うの、信じられないわ」

一般社員の話

「審査員って、さすがだなと思いましたよ。審査員が現場にやって来ると、『さあ、来い。何でも答えてやるぞ』って顔で自信満々に身構えている人っているでしょう。そういう人には聞かないのね。うつむいている人とか、何となく審査員から目をそらしている人とか、そういう人が狙われてました。青井さんの態度も、たぶんそんな感じだったんじゃないかな」

管理責任者の話

「残念ですが、青井君には他の部署に移っていただきました。彼のお陰で冷や汗ものでしたからね。もうすぐ替わりが来ます。今度来るのは、ハキハキした元気のいい社員ですから、審査員が来ても大丈夫です」

青井さんの話

「審査員に質問されたとたん、頭の中が真っ白になってしまいました。最初は質問の意味がわからず、焦ってしまったのですが、そのうちに何を質問されたのかさえ忘れてしまいました。これはえらいことになったと思い、周囲の社員に目で助けを求めましたが、みんな怖い顔をして私を睨んでいるだけです。仕方なく『わかりません』と言いました。もう、こんな試験はこりごりです」